



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 3月号

平成29年3月1日

校長 藤井恒雄

心のバトン ～「校風」「伝統」～

ここ数日の陽気に、運動場で遊ぶ子どもたちが多くなりました。春間近を感じます。気持ちも軽やかに弾みます。まさにSpringです。これまで本校の教育活動に対しまして保護者の皆様から数々のご支援とご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。



早いもので、平成28年度も最後の月となりました。この一年間を振り返ってみますと、学校の様々な活動に対して、たくさんの方々から温かいご支援・ご協力をいただきました。あいさつや交通安全指導を通して見守り続けてくださったPTAや地域の皆さん、読み聞かせや図書館整備のボランティアの方々、PCサポーターの石橋先生・ALTのジュディ先生・スクールカウンセラーの藤解先生・いきいきサポートの的場先生・生徒指導サポーターの藪下先生、津幡中学校出前授業の先生方、その他様々な学習活動でお世話になった保護者・地域の方々……。皆さんの応援をいただき、多くの場面で子どもたちの生き生きとした姿をたくさん見る事ができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6年生はあと11日で小学校生活とも別れを告げ本校を巣立っていきます。1年生から5年生は、学校生活の様々な場面で6年生のお世話になりました。運動会や委員会、クラブ活動や縦割りグループでの活動、児童集会など、一生懸命下級生のお世話をしてくれました。本校の最上級生としての責任と向上心を持って1年間頑張ってくれました。優しくそして頼もしく、下級生をリードしていろいろな場面で力を発揮してくれた6年生の姿は、5年生にも眩しく映ったことと思います。そして、今度自分たちがその立場になってきくと引き継がれていくと信じています。



先週の金曜日に「6年生を送る会」「さよならふれあいタイム」が行われました。最後の挨拶で、今日の集会と「心のバトン」についてのお話をしました。6年生に対しての感謝と、これからの中学校生活に向けての励ましの気持ちを込め、どの学年も一生懸命に演技したり美しい歌声や元気な声を響かせたりしてくれました。とても心が温まるいい会になりました。また、4月から頑張ってきた成果が子どもたちの活動に、姿に表れていたように思えます。5年生もこの会に向けて、1月から準備を始め、立派にやり遂げることができました。このような生き生きとした姿が「優しい校風」「良き伝統」となって「心のバトン」として引き継がれていってほしいと思います。卒業式での旅立ちの姿に、送られる子どもたち、送り出す教師と在校生、祝う保護者や地域の方々の感謝と激励の思いがひとつになる。これらは、日本の学校に見られる当たり前の風景です。このような日本の学校の伝統と校風は、子どもたちの本気によってつくられていると思います。そして、この「校風」「伝統」を大切にして日々の教育活動を行っていきたいと考えています。ご来校くださった保護者・ご家族の方々、最後までのご参観本当にありがとうございました。